



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともしよう

◆点鐘：小林 恵一 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
◆司会：大西 章泰 副 S.A.A. ◆会場：パレスグレンデール

Yamagata West Rotary

第2839回例会

平成31年3月11日(月)

会長挨拶

小林 恵一 会長



一昨日(土)は、地区会員増強、職業奉仕、社会奉仕各委員会の合同セミナーが酒田市で開催され、細谷パストG始め高橋勝治職業奉仕常任委員長、安部弘行職業奉仕委員長、武田秀和社会奉仕委員長と共に5名で出席して参りました。

各委員会それぞれ充実した熱心な討議がおこなわれ、また他クラブの事例紹介等もあり知見を広める意味で大変有意義なセミナーだったと思います。今後のクラブ運営に有形無形に反映されるものと期待しているところです。

今日11日は、東日本大震災の発生からまる8年になります。昨年9月、クラブとして被災地石巻へ出向き現地の視察を兼ねて4回目の復興支援芋煮会を開催しましたが、当時、被災から7年半が経過し建物や道路、防潮堤等のインフラが再建され復興住宅等も整備される一方、個々の被災者にとって、奪われた日々の暮らしや日常生活のリズムを取り戻すにはほとんど至っていない現実を知りました。

被災後の生活再建には、壊れた建物やインフラをどう復旧させるかという官主導の物理的な再建だけでは不十分で、人のつながりやコミュニティといった人間のネットワークが大事であり必要なことなのではないか。訪れた市営新沼田復興住宅は、広場を中心に個別の住宅やアパートが整備され町内会も充足したとのことでしたが、入居して来た避難者はそれぞれ個別の事情や悩みを抱えており、芋煮会のようなお誘いにも、その時初めて参加された方が多かったようです。町内会長が言われたように「人のつながり」といったコミュニティが形成され機能するまでには至っていないのが実情のようでした。

ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)という社会科学分野の用語があります。社会や地域における人々の信頼関係や結びつきを表す概念で、定義もさまざまですが、他人に対して抱く信頼、「持ちつ持たれつ」と云った規範、人や組織のネットワークなど、人間関係の豊かさを社会資本として捉え「人間関係資本」と訳すこともあるようです。

人のつながりや信頼関係が強い社会や地域ほど集団として、被災後の課題を乗り越えるパワーを発揮するといわれています。一か所に長く暮らせば、その土地と人々への愛着が生まれ、地元の課題と一緒に取り組む経験が増え地域社会への信頼感が強まる。そうしたものの全体がソーシャル・キャピタルを育み復元力のある災害に強い街をつくる。

今日11日は、東日本大震災の発生からまる8年になります。昨年9月、クラブとして被災地石巻へ出向き現地の視察を兼ねて4回目の復興支援芋煮会を開催しましたが、当時、被災から7年半が経過し建物や道路、防潮堤等のインフラが再建され復興住宅等も整備される一方、個々の被災者にとって、奪われた日々の暮らしや日常生活のリズムを取り戻すにはほとんど至っていない現実を知りました。

被災後の生活再建には、壊れた建物やインフラをどう復旧させるかという官主導の物理的な再建だけでは不十分で、人のつながりやコミュニティといった人間のネットワークが大事であり必要なことなのではないか。訪れた市営新沼田復興住宅は、広場を中心に個別の住宅やアパートが整備され町内会も充足したとのことでしたが、入居して来た避難者はそれぞれ個別の事情や悩みを抱えており、芋煮会のようなお誘いにも、その時初めて参加された方が多かったようです。町内会長が言われたように「人のつながり」といったコミュニティが形成され機能するまでには至っていないのが実情のようでした。

ロータリアンとして、個々に社会奉仕活動を行ううえでの参考になればと思います。それと被災地支援は引き続き継続性が大事だと思っています。

学術的見地からの警告もあるように、日本にとって巨大地震は、「もしかしたら」ではなく、いつ襲ってくるのかという問題でもあります。そうしたものに備え日頃の「人のつながり」を大切にしたいと思います。

本日の挨拶と致します。

幹事報告

菅原 茂秋 幹事

●今月のロータリーレートですが、110円となっておりますので、よろしくお願ひいたします。3月いっぱいまで転勤の方が2名いらっしゃいます。住友生命の風間さんと、荘内銀行の橋本さんが異動になられるということで、本日、ご挨拶を頂戴したいと思います。

委員会報告

職業奉仕委員会

安部 弘行 委員長

来週、例会お休みでございまして、次の例会が3月25日月曜日、遠藤商事さんの「イーベジ・ファーム」職場訪問例会となります。案内文にも書かせていただきましたが、駐車場ございません。幹事のティスコ運輸さんのほうに皆さん、お集まりいただくようお願いいたします。そこで、例会をやりまして、2班に分かれていただきます。マイクロバスで第1班の方を工場のほうにご移動いただいて、見ていただきます。第2班の方はお食事をとっていただいて、戻ったらまた入れ替わるということになります。遠藤靖彦君の計らいで、お土産もあるそうでございますので、是非、奥様にお野菜を食べていただければと思います。職業奉仕はロータリーの看板板でございます。たくさんの方々の皆さまのご参加をお待ちしております。

親睦・家族委員会

伊庭 公也 委員

3月お誕生日の方々の発表をさせていただきます。会員の方々7名、会員の奥様9名の皆さまです。どうもおめでとうございました。

「この10年を振り返って」

有限会社 壽屋
代表取締役社長

横尾 友栄 氏



YBC山形放送に15年8か月、アナウンサーとして大学を卒業してからお世話になっておりました。退社して、ちょうど去年で丸10年が経ちました。11年目にさしかかっているところです。

まず、壽屋はどういうところかというところから、お話をさせていただきたいと思います。今、現在、私は東根市にあり、ます壽屋で代表を務めています。皆さんのお手元に配付させていただいたものが壽屋の商品カタログになります。壽屋では年に3回、このような商品カタログを配布いたしまして、全国に発送させていただいて通信販売、それと店舗販売を行っております。

壽屋は漬物屋でございます。現在は私が代表を務めております「壽屋寿香蔵(ことぶきやじゅこうぐら)」という商品を販売する店舗、それと私の父が今は代表を務めております「有限会社壽屋漬物道場」という漬物を製造販売する会社、2つの有限会社からなっているのが壽屋でございます。また、現在は壽屋の隣にあります、こちら「野守の宿(ぬもりのやど)」築120年の古民家でカフェを営業しております。土間部分でカフェを営業しまして、それと120年の古民家座敷部分を使いまして様々な展示会なども行っております。今現在はお雛様シーズンになっておりますので壽屋周辺のご近所、それから親戚筋のお宅に伝わるお雛様を展示させていただいております。

壽屋の一番人気の商品、お渡ししました商品カタログをご覧ください、「茜姫」という文字が入ってくるかと思えます。木の上で完熟させた梅を砂糖漬けにしました、こちら完熟梅の砂糖漬け、茜姫でございます。1粒1粒、やぶれや崩れないきれいなものを袋に入れて、箱詰めにして贈答用ということで販売しております。茜姫、梅の砂糖漬け。よく漬物屋さんですか、お菓子屋さんですか、とここのところ聞かれることが多くなってきました。お砂糖を使っていますので、召し上がっていただくにはお茶請けといった感じなんですけれども、あくまでも漬物。漬物屋さんですので、砂糖漬け、漬物ということで販売させていただいております。その他、壽屋では、様々な、季節ごとに応じて、およそ30種類ほどの漬物の製造販売をしているところです。

壽屋の一番の特徴は、「食品添加物は一切使用していません」。そうなんです。壽屋では、食品添加物は一切使用せずに漬物や食品を製造販売しております。これが壽屋の一番の特徴と言えるかもしれません。この食品添加物を一切使用しないというふうに申し上げますと、だいたい皆さんから、「ああ、無添加ですね」というふうに言われます。残念ながら壽屋では、「無添加」という表現は使わずに、「食品添加物を一切使用しない」、ちょっと回りくどい表現でしております。カタログの一番後ろの背表紙に「磯部理念に基づく食

品作りを行っております」というふうに明記しております。壽屋では磯部理念に基づいて、食品添加物を使わずに、漬物を製造販売しております。この件に関しましては、私よりも、そちらにいらっしゃる戸田さんの会社と私どもの会社、一緒にこの磯部理念について学んでおりますので、大先輩の戸田さんのほうが非常に詳しく語ってくださると思います。

続いて壽屋の、現在非常に注目の商品ということで、ちょっとお話をさせていただきたいと思います。皆さんにお配りしました商品カタログの後ろからピラピラピラっとめくっていただいて、りんご酢というページがあるかと思えます。実は壽屋のりんご酢、食品添加物を使用せずに漬物を製造販売する壽屋の象徴のような商品となっています。と言いますのも、食品添加物を使わずに漬物を製造販売するということを決めたのは、私の父の代です。その際に、漬物を作るのに、調味料を色々探したそうです。その調味料も、もちろん食品添加物を使用しないものということで、全国色々探したところ、残念ながらお酢は見つけられなかったということなんです。そこで、どうしたかということ、それでは作ってしまおう。東根は果樹王国ですのでりんごがたくさんとれます。皆さんのお口に入るようなりんごではなく、ちょっと形が崩れてしまったり、色が悪かったり、そういった、いわゆるくずとなるりんごもたくさん取れます。ただ、非常に糖度が高いのが特徴ですので、このりんごを集めてきて、それでりんご酢を作りましょうということで、りんご酢を製造いたしました。そして、現在に至っています。

当初は漬物を作るために作っていたりんご酢ですので、販売のほうは正直なところ、そんなに振るいませんでした。ところが、ここにきて、去年の夏頃からいろんなテレビで、お酢って体にいいよっていろんなところで言われています。例えば、血糖値を下げるとか、血圧を下げるとか、内臓脂肪を減らすとか、目がきらきらしてしまうようなうたい文句を付けて、テレビがお酢の宣伝をしてくれるようになりました。そうしましたところ、壽屋のお酢、一気に販売量が増加しております。

実は、正直申し上げますと、今年、販売しておりますのは、壽屋のりんご酢、実は3年間熟成させて販売しているんです。ですから、4年前に仕込んだものなんですね。去年からお酢の売り上げが上がったからといって、急な増産はできません。となると、どうなるか、急な売り上げアップにより、たぶん、まもなく、販売規制をかけなければいけないのではないかというような状況に陥っております。何でそんなにこのりんご酢、そんなに人気なのって皆さん思うかもしれませんが。カタログのほうに、私がしつこく、ぐじゃぐじゃぐじゃ書いておりますけれども、簡単に説明させていただきます。

日本全国で販売されているお酢はJAS法という法律で決まっているらしく、果汁30%、りんご果汁30%を使って発酵をさせれば「りんご酢」ということで販売可能なんだそうです。ところが、壽屋のりんご酢は、集めてきたりんごをそのまま砕いて、絞って、漬物屋さんですので、漬物石でぐーっと押し、ジュースをだーっと出します。そうしますと、りんご果汁100%です。りんご果汁100%の液体、非常に糖度が高いので、適正な温度管理下ですぐアルコール発酵します。アルコール発酵させたのちに、酢酸発酵、こちらもりんごの持つ自然の力で酢酸発酵、酢酸菌を入れるだけで立ち上がって、

酢酸発酵が起きていきます。こういった2回の発酵をしっかり行って、3年間熟成させているということ、こちらをしっかりアピールしていることで、今現在、非常に人気をいただいております。実際に舐めていただくと、30%と100%の違い、非常に大きな違いを感じていただけたと思います。そんなりんご酢なんですけれども、私どもでは、日本一のりんご酢であるということを自負して、積極的に販売に取り組んでいるところです。

さて、壽屋の話はさておき、私自身の話に戻させていただきます。YBC（山形放送：補足）を退社して丸10年が経ちました。そもそもYBCを退社したきっかけというのは、私が壽屋の長女であった。それで、壽屋の跡継ぎであったということです。ただ、アナウンサー時代、非常に楽しく仕事をさせていただいておりました。やる気に満ち溢れていて、そしてやりがいも非常に感じて仕事をしておりました。ですから、壽屋の跡継ぎということは、どこか、頭の片隅においてすっかり忘れておりました。父からの一言がきっかけでした。そろそろ、壽屋を継ぐのか、それとも、継がないでこのままアナウンサーするのか、はっきりここで決めてほしいというふうに言われました。「そっか、どうしようか」悩み始めて1年半、仕事が非常に充実している中、悩んで悩んで気が付くと1年半。これは、私は新しい職に飛びついたほうがいいに違いないということで、新たな職に飛びつきました。これが、父からの一言がきっかけだったわけですが、私自身、この先、一生仕事を続けていくのであれば、今までやってきたアナウンサーの仕事もとても魅力的で充実していた。ただ、これから新しい職業、どんなことが待ち構えているのか、全く分からないけれども、仕事を続けていくのであれば新しい道でというふうな、私自身のキャリアアップ、それから好奇心旺盛だったところが非常に大きかったと思います。

加えてもう1つ言うならば、当時YBCで仕事をさせていただいておまして、一緒に仕事をしていた先輩、それから後輩、特に女性社員に関して、非常に有能な方が多くいるなあというふうに感じていました。こういった有能な女性が輝く社会を、会社を作っていければなあという淡い期待を抱いて壽屋に取り組んだわけでした。壽屋に飛び込みました。ところが、非常にさまざまな事件がそのあとの私には待ち構えておりました。いくら話し続けても時間がなくなってしまうので、1つに絞ってお話させていただきたいと思います。

有能な女性が輝く会社を作りたいということで壽屋に飛び込んだ私には、大きな大きな挫折が待ち構えていました。壽屋、特に私がおります販売店のほうは、今現在は女性スタッフ8名で運営しております。その女性スタッフばかり、母の時代に母が元気いっぱい経営してきた女性スタッフです。基本的な作業のことは私に非常に丁寧にやさしく教えてくださいました。ところが、「どうしてこの作業はその手順でやるんですか？そもそもこういうふうにやったほうがいいんじゃないですか？」なんていう、ちょっと面倒くさいことを私が一言でも言うとう、「わかんない、そんなの。私たちだって、やれ、って言われてるんだもの」という答えしか返ってきませんでした。非常にショックを受けました。「え？なんで、なんで？これがどうしてこういう、理由があってこういうふうにしてるんじゃないの？」、しつこく聞く私、どんどんスタッフから離れていくのがよくわかりました。挙句、「そういった難しいことは、男の人がやればいいのよ」という発言も出てきて、非常に私

の中で期待を描いていた「有能な女性が輝く社会を、会社を作りたい」、ガラガラガラと崩れていきました。そこで私が一言年長のスタッフに「まったくみんな、バカばかり」というふうな愚痴ってしまったことが、その年長のスタッフがこんどほかのスタッフに対して「だからあんたたち友栄ちゃんから『バカばかり』とか言われるんだよ」というふうな直接言ってしまったことで、ますます私、総スカンを食らうという孤立した状況になりました。

そんな中、壽屋入社5年目のことです。私の人生に大きな事件が発生しました。42歳にして初めて妊娠、出産に至ることになりました。妊娠が発覚してからなんと切迫早産ということで、2カ月間寝たきりの状態が続きました。そこで驚くほど早い出産の上、超低体重児を出産して、産まれたあとも6カ月間毎日病院に通うという日々を行っていました。

そんな中、同時期、祖母が入院してしまい、ほぼ寝たきりの生活。加えて、私が出産した直後に父のガンが発覚し手術を行うという、壽屋の横尾家にとってはこれまでにないぐらいのさまざまな事件がボンボンボンボン発覚いたしました。

それでこの間、壽屋、会社のほうはどうなっていたかと言いますと、母の代から仕事をしてくれていましたスタッフの定年退職などもありまして、ちょうどスタッフの入れ替え時期に入っておりました。入れ替え時期ということで、新たに入社した社員も何人かいたのですが、そういった壽屋のお家事情があまりにもドタバタしている、職場の雰囲気も決して良くない状態、その間バタバタで新たに入社して辞めた社員がなんと4人。

私はNICU、新生児の未熟児の子どもが入院している部屋に毎日通いながら求人票を出したり、面接をしたりという非常に過酷な日々が続いていました。ところが、この間、壽屋をしっかり支えてくれていたのは、なんと私が「バカばかり」と言い放った壽屋の情の厚い女性スタッフでした。

母の代からのスタッフ、一旦は退職したものの、シニアスタッフとしてあまりにも回らないので戻ってきてくださって、しっかりスタッフを牽引。それから私に何を聞かれても「わかんない、そんなの」と言っていたスタッフも、新しい若手スタッフのリーダーとなって非常に力強く壽屋を引っ張ってくれていました。その証拠として、ごめんなさい、今日こちらで表をお見せしたかったんですが、壽屋の売上です。実はそのゴタゴタ期というのが2013年の10月から2014年の9月という期間になるんですが、その期間の売上が過去10年間で最もいい売上となっています。現在もまだその売上を越えられていないんです。これは本当にスタッフが一丸となって仕事をしてくれたおかげだというふうに非常に心から感謝しているところです。

そんなこんなで10年間なんとかここまでやってきました。壽屋ではさまざまな新商品を発売したり、商品カタログを年間3回お出ししたり、そして「野守の宿」という隣の古民家にカフェをオープンしたり、さまざまな活動をしてきております。

皆さまのお手元にお配りしているカタログの中に、私の手書きのお手紙が入っているかと思っております。実は今現在、この手書きのお手紙非常に好評をいただいております、お客さまのところへカタログをお送りします。それからこれ以外にも時々、2カ月に1回ぐらい、お客さまごとにさまざま選択をさせていただきまして、小さなお手紙と一緒にチラシをお送りしているんですが、私がお送りしているのはカタログ、チラシと

いうふうにしてお届けしていたんですが、お客さまからは必ず「お手紙ありがとう」、「お手紙届いたわよ」という声をすごくありがたいていただいております。「お手紙見て注文しようと思った」というふうに言っただけです。毎回さまざまなことを、思いついたことを書いているんですけども、とって親しい間柄のように私のことを感じてくださっているお客さまが非常に多くいらっしゃるの非常にありがたいことです。

ここまで10年間簡単に振り返らせていただきましたけれども、アナウンサー時代と現在とを比較してみまして1つ言えることは、私たち、胸を張って勧められる商品を製造・販売しているということです。正直、アナウンサー時代、おべんちゃらな発言、しなくもなくはございませんでした。ところが、今現在は本当に自信を持ってお客さまに嘘偽りのない商品をお勧めできているなということを非常に実感しております。

ここからの私の目標、皆さんの前で語らせていただきたいと思っております。「壽屋＝(イコール) 茜姫」、そして「壽屋＝(イコール) リンゴ酢」という2本立てにできるように力を込めてやっていきたいと思っております。それともう1つ、「有能な女性が輝く会社を作りたい」。この淡い希望をもちろんまだ捨てていません。壽屋店舗のほうは8名と先ほど申し上げました。工場のほうも7名です。ほぼ8割方女性スタッフです。この女性スタッフに私、毎日のように耳がタコになるぐらい「私たちは日本一の商品を製造、販売しています」とお伝えしています。商品に負けない接客、そして会社づくりが必要だとスタッフに話をしているところです。壽屋の女性スタッフが光り輝く会社になれるように、まだまだ力を入れてがんばっていきたくと思っています。

そのほか、茜姫を製造していくために現在、茜姫になる地元産の「節田梅(せつだうめ)」の生産量が減ってきております。こちらを、栽培面積を増やして茜姫をたくさん作れるようにというの大きな課題であります。

そして、壽屋を継いだ現在は、次に伝えていくということを考える立場になったんだなと感じております。娘、5歳。アナウンサーの仕事は憧れの仕事。残念ながら壽屋の仕事、「憧れの仕事」って世の中の人は私の娘には教えてくれないと思っております。ですから私の仕事は憧れになるよう、精一杯仕事と人生を楽しんでいる姿を娘に見せていかなければいけないなと、今感じています。娘にとって憧れの仕事「アナウンサー」、それよりもっと「壽屋の社長」になってもらえるように人生楽しんでいきたいと思っております。どうぞ皆さん、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今回このように皆さんの前で話をさせていただく機会、本当にありがたい機会を頂戴いたしまして、人生生きてきて「30分間なんでも喋っていいよ」っていうふうに言われるなんて、そんな素晴らしい人生ないなというふうに感じております。このような機会を与えてくださりまして、本当にどうもありがとうございました。

ニコニコBOX

中山眞一さん／2月23日に旭日小綬章(キョクジツショウジュショウ) 受賞祝賀会を開催していただきました。祝いをかきたくさんの方々にしていただくのは初めてであり言葉に言えないほどありがたく思いニコニコいたします。

高橋勝治さん／3月9日酒田に於いて2800地区の合同セミナーがありました。職業奉仕講師、藤川パストガバナーのお話を聞いてきました。その中で特に印象に残ったのがライオンズクラブとロータリークラブの違いとは?ロータリークラブはライオンズクラブに無い職業奉仕がある事、真の職業奉仕とはゴミをきれいにする事ではなく、ゴミを捨てない環境を作る事だと教えられました。大変感動してきました。

橋本慶昭さん／丸2年、歴史と伝統ある山形西ロータリークラブで多くの事を学ばせて頂きました。ありがとうございます。4月以降も山形におりますので、今後もなにかとお会いする期会もあると存じます。後任ともども引き続きよろしくお願い致します。山形西RCの益々のご発展をお祈りします。

風間義朗さん／「山形三度泣き」といいますが、本当に涙が出るほど寂しく、でもありがたかったです。山形の皆さまのお人柄には助けられてばかりでございました。本当にありがとうございました。4月より青森に行つて参ります。ねぶた等ございます。是非お越しの際にはお声かけて頂ければ幸いです。

大西章泰さん／3/10の山形新聞に消防自動車寄贈の損保協会の取組が紹介されました。その記事を書いたのは何と半田先生のご子息とのこと!大きなご縁を感じましたのでニコニコします。

結城和生さん／糸魚川市は糸魚川静岡構造線上の直上に位置して、極めて多岐にわたる種類の岩石、鉱物、地質構造等が観察できる場所でした。フォッサマグナミュージアムはすばらしい博物展示館でした。震災の日に記念して。

木村 孝さん／母の告別式に、多くの皆様から御参列及び御香典をいただいた御礼。

後藤章洋さん／父の葬儀に際しまして、皆様より多大なるご厚志を賜り、誠に有難うございました。また、心あたたまる励ましのお言葉を賜り、とても心強く思った次第です。今後ともご指導宜しくお願い致します。

西風会

3月16日(土) 麻雀クラブ大樹



優勝
坂部 登(会員)
準優勝
佐藤 充昭(会員)
第三位
高橋 順弘(会員)
第四位
庄司 時雄(会員)

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席(3/11)	96名	58名	修正出席(2/18)	96名	86名	83名	96.51%
メイクアップされた会員	(山形南) 長岡 壽一、橋本 徳光、風間 義朗、鈴木 隆一、伊藤 義彦、武田 博文 (山形中央) 小松 公博						